

心臓リハビリテーション指導士認定試験のご案内

平成 30 年 3 月

学会員各位

日本心臓リハビリテーション学会
心臓リハビリテーション指導士認定制度委員会
委員長 安達 仁

拝啓 春暖の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、日本心臓リハビリテーション学会認定心臓リハビリテーション指導士資格取得の件につきご案内申し上げます。

本学会では設立当初より、包括的心臓リハビリテーションの必要性が謳われており、このために心臓リハビリテーションに携わる職種の方の知識と技術の向上および、均一化の必要性が論じられてまいりました。

ご承知の如く、平成 30 年度におきましては、7 月に第 24 回学術集会在横浜にて開催されます。平成 12 年第 6 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会上に心臓リハビリテーション指導士制度が発足して以来、学術集会時に資格取得のための講習および筆記試験を行ってまいりました。

今回行われます第 19 回試験も同様の形式にて、第 24 回学術集会時に行われますことが決定しておりますので、会員の皆様に応募のご案内を申し上げます。

学会ホームページにリンクしております「心臓リハビリ指導士養成カリキュラム」を開いていただくと心臓リハビリテーション指導士が保持すべき、心臓リハビリテーションに関する知識および技能の到達レベルが記載されております。

(<http://www.jacr.jp/web/jacrreha/system/curriculum/>)

心臓リハビリテーションに関わる皆様のレベルアップおよび更なる発展のため、たくさんのご応募をお待ちいたしております。

敬 具

募集要項

1.募集人員

900名

2.出願資格

心臓リハビリテーション指導士資格認定試験を受験するものは、次の各項の条件をすべて満たす必要があります。

- 1) 医師、看護師、理学療法士、臨床検査技師、管理栄養士、薬剤師、臨床工学技士、臨床心理士、健康運動指導士、作業療法士のうちいずれかの資格を有していること。
- 2) 申請時に本学会会員であること。
申し込み時に2年以上の会員歴が必要となります。これは、受験申込時の直近2年以上継続して会員であるということです。従って、第19回指導士試験の受験希望者は平成28年4月までに入会している必要があります。
- 3) 心臓リハビリテーション指導の実地経験が1年以上あること、または心臓リハビリテーション研修制度により受験資格認定証の交付を受けていること。
所属長の推薦状（実地経験に関する証明書を兼ねる）が必要です。

3.申請書類

次の書類をそろえて申請してください。

提出書類に関しては誤りがないよう、また日付や名前等の記載にもれがないよう十分注意してください。今年度のフォーマットでない場合や記載漏れがあった場合は書類不備で受験できません。

表紙、推薦状、署名以外は手書きを不可とします。

- ① 表紙チェックリスト（必ず本状を一番上にして送付のこと 書類様式1ダウンロード）
- ② 受験・講習会受講申込書（書類様式2ダウンロード）
- ③ 所属長（または部門長）の推薦状（証明書を兼ねる：書類様式3ダウンロード）
自薦は認めておりません。
- ④ 受験資格に該当することを公的に証明するものをA4版に縮小コピーしたもの
（2.出願資格に記載された資格のうち、いずれか1つの資格免許証の写しなど）
- ⑤ 受験資格認定証のコピー（実地経験が無い方で研修制度を利用して認定証を発行された方）
- ⑥ 自験例報告書（10症例）（所定様式にパソコンで入力し提出：書類様式6ダウンロード）
*昨年不合格で今回再受験者は自験例報告提出の必要はありません。
*研修制度を利用された方については研修中に仕上げた症例報告原本を提出してください。
***1症例1枚にまとめてください。**
- ⑦ 受講票用顔写真「4.5 cm×3.5 cm」2枚 写真裏面に氏名を記載してください。

上記書類①,②,③,⑥をホームページよりダウンロードのうえ、必要事項をご記入ください。①を一番上にして②. ③. ⑤. ⑥. ④. (⑤は研修を受けた方のみ) の順にならべ、写真の裏面に氏名を記入し、クリアファイルなどに入れたうえで、封筒に入れ、郵送か宅配便でご送付ください(締切日必着です)。それ以外の方法は一切認めません。事務局に直接お持ちいただいても受付いたしません。

⑤は該当者のみ同封してください。

- ・書類到着の確認などを事務局に問い合わせにはお控えください。
- ・書類送付は、郵送または宅急便でお送りください。
- ・封筒の表には朱書きで「第19回心臓リハビリテーション指導士申請書在中」とお書きください。
- ・選考には約1ヶ月かかりますのでご承知ください。
- ・選考書類結果は年会費納入期限後になります。
- ・書類選考を通過した方には、審査料振込用紙、プログラム、注意事項を郵送いたします。
- ・期日内に審査料のお振込を確認できた方は、審査料振込締め切り後、写真を貼った受講票を事務局からお送りします。
- ・振込期限を過ぎた場合は受験ができませんのでご注意ください。
- ・選考に関するお問い合わせはお控えください。

送付先:

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-23-1-260

日本心臓リハビリテーション学会事務局

Tel.03-6300-7977 Fax.03-6300-7966

E-mail:jacr-society@umin.ac.jp

5.出願期間

平成30年4月13日(金)9:00～4月27日(金)必着

*郵便事情によって遅れる可能性もありますので4月25日を目指して郵送することをお勧めします。

*締め切りを過ぎてからの到着は、いかなる理由があっても受付しません。

6.受験者選考を行いますので下記の点にご注意ください。

- ・申請書類は正確かつ適切にご記入ください。記載漏れがある場合、手書き不可の書類が手書きであった場合、捺印がないもの、フォーマットが19回でないものは書類不備となります。
- ・自験例報告についても審査いたします。不適切な記載(記載内容が適切さを欠いていたり、誤りの多い記載および正当性の欠ける内容)の場合は、研修制度利用を勧めます。不適切記載による再提出は求めません。研修制度利用を勧められた場合は、当該年度の

受験はできません。

・症例報告の使い回し等の不正は認めません。「自験例報告の書き方」をよく読んでください。

報告書に印を押す所属長（部門長）は、記載内容を十分確認のうえ印を押してください。

自験例報告書は自身が所属長（部門長）の場合は、申請者と所属長（部門長）は同一で構わない（推薦状は同一人物は不可といたします）。

・書類に不備のある方は受験できません。

・受験年度に当たる平成 30 年度までの年会費が未納の方は受験できません。

平成 30 年度会費納入に関しては、平成 30 年 3 月下旬～4 月上旬に会費納入に関してのお知らせをお送りしますので、平成 30 年 5 月 11 日までに必ず払い込んでください。期日までに会費の振込が確認できない場合は書類審査をいたしません。郵便振込用紙には本人が特定できるように、お名前の記入を確実にしてください（事務局から送付したものをご使用ください）。

・受験許可されたにも関わらず、無断で当日欠席された方の受験は以後認めません。

・審査結果に関する問い合わせにはお答えできません。

・ホームページの Q&A を確認いただいてもご不明なことがございましたら事務局までご連絡ください。

7.受講料及び審査料

受講料 第 1 部 6,000 円

第 2 部 4,000 円

第 1 部+第 2 部 10,000 円

審査料 15,000 円

* 書類審査に通過した方のみに、受講料・審査料の振込用紙を事務局から送付いたします。

通常の会費振込口座とは異なるため、必ずその振込用紙でお振込ください。

* 納入した受講料、審査料は理由の如何を問わず返還いたしません。指定した期日までに必ず入金してください。期日までに受講料、審査料を納付されなかった方は以後の受験を認めません。

* 領収書は振込票の控えをもってかえさせていただいております。

振込票の控えは無くさないようお手元に保管してください。

8.関連講習会について

（以下のいずれかを受講すると講習会の第 1 部が免除されます。）

受験のための講習会第 1 部免除は平成 30 年度第 19 回認定試験のみが対象となります。

① 第 50 回運動処方講習会（終了済みです）

日時：平成 29 年 10 月 15 日

会場：筑波大学 東京キャンパス文京校舎

② 第 51 回運動処方講習会（終了済みです）

日時：成 29 年 11 月 26 日

会場：平電気ビル

③ 第 19 回埼玉心臓リハビリテーションセミナー

日時：平成 30 年 4 月 29 日

会場：埼玉医科大学国際医療センター

④ 第 55 回運動処方講習会

日時：平成 30 年 6 月 24 日

会場：東京ビックサイト

9.審査方法

講習会への出席（講習会受講は原則必要ですが上記の第 1 部免除の講習会を受講し、受験当日当該講習会受講証明書の原本を提出した場合第 1 部受講は免除されます）と試験（必須）。

試験は日本心臓リハビリテーション学会ホームページの「心臓リハビリ指導士養成カリキュラム」、関連学会のガイドラインなどと講習会の内容から、マルチプルチョイス方式で出題されます。講習会ではテキスト「心臓リハビリテーション必携」を使用します。販売は事務局等で扱っていますので、講習会・試験の前に事前購入をお勧めいたします。

10.講習会および試験会場

会場：パシフィコ横浜

11.講習会および試験日時：平成 30 年 7 月 15 日（日）、7 月 16 日（月・祝）

1)講習会

日時：平成 30 年 7 月 15 日（日）（学術集会終了後）

*講習会第一部前半

- ・総論 運動生理学・運動心臓病学
- ・運動処方 心リハプログラム（急性期・心臓術後）
- ・運動処方 心リハプログラム（回復期・維持期）

平成 30 年 7 月 16 日（月・祝日）

*講習会第一部後半

- ・救急処置・安全管理
- ・心肺運動負荷試験実習

*講習会第二部

- ・総論 病態生理・診断治療
- ・栄養学

・臨床心理学

*講習会での写真およびビデオ撮影は禁止といたします。

*時間の関係で講習会第 1 部を前半と後半に分けます。第 1 部から参加される方は、15 日から出席してください。

第 2 部のみ参加の方は 7 月 16 日の受付時間までに会場におこしてください。

*会場内のごみは各自で片付けてください。

2) 試験：7 月 16 日（月・祝）講習会後の 1 時間

12.合格発表

後日学会および指導士ホームページにてお知らせします(試験から約 1 ヶ月半後)。その後合格者には認定証を発送いたします (9 月 1 日以降)。電話による問い合わせはご遠慮ください。

13.講習会・試験の注意事項

- 1) 指定期日内に受講料・審査料をお振り込み下さい。
期日内にお振り込みが確認できない場合は受験ができません。
- 2) 当日は、受験・受講者用の受験・受講票 (写真添付) をご持参ください。当日忘れた方の受験は一切認めません。受講票は原本以外はスマートフォンなどに撮影してあっても認めません。
- 3) 第一部免除の方は、該当する第一部免除の受講証明書を当日持参してください (コピー不可)。
- 4) 「心臓リハビリテーション必携」(心臓リハビリテーション指導士養成テキスト) をもとにして講義をする予定です。テキストは事前に購入することを強くお勧めします。
- 5) 講習会の遅刻、早退は認めません。
- 6) 講習会のビデオ撮影・写真撮影・録音は禁止します。撮影、録音行為が発覚した場合には受験資格を失います。
- 7) 心肺運動負荷試験の実習は呼気ガス分析装置を用いた実技デモを行います。
- 8) 試験はマルチプルチョイス、マークシート方式です。指定された個数 (1 個あるいは 2 個) の正解を選んでください。2 個選ぶ場合には、2 つとも正解の場合に得点になります。各自、HB または B の黒鉛筆数本あるいはシャープペンシルと消しゴムを用意してください。
- 9) 合格発表は学会 HP および通知にてお知らせいたします。
- 10) 試験内容は「心臓リハビリテーション指導士養成テキスト」と「日本循環器学会」などの各種ガイドラインから主に出題されますが、それらに含まれていなくても時々のトピックスからも出題されます。テキストや直前の講習会は心臓リハビリテーション指導士として知っておかなければならないことが示されているものであり、ここ以外から試

験問題が作成されないわけではありません。運動中の病態生理・運動処方や食事療法は必ず出題されますが、これらの項目はテキストや直前の講習だけではカバーされない可能性もあります。幅広い知識が必要です。また、心疾患の病態、検査所見の読み方、薬物療法なども、心臓リハビリテーション担当者として知っておかなければならないことは出題される可能性があります。

14. 症例報告について

受講申請書類の10症例の内容を審査します。同一施設・同一症例であっても、各自が独自の視点から問題点を抽出して心臓リハビリテーションを実施したことを記載すれば認められますが、他者の報告を模したことが明らかな場合には受験資格が与えられません。同一施設の過去の報告を再利用することも禁じます。不正があった場合には厳正に対処します。

記載内容が不十分である、あるいは誤りがある場合には当該年度の受験は認めず、研修制度の利用を勧めることもあります。特に、運動耐容能、運動処方、患者指導・教育の記載について自信のない方は、積極的に心臓リハビリテーション研修制度を利用されることをお勧めします。不十分な記載内容の具体例は学会HPを参照してください。

心臓リハビリテーション指導士認定試験は、心臓リハビリテーションの経験と知識が十分あることを証明するための試験です。経験について証明するものが自験例報告書です。そこでは、様々な心疾患に対して標準的な心臓リハビリテーションを実施してきたことを証明できていなければなりません。

以下に、記載に関して考慮すべき点を示します。今年度は、10症例のうち数例は以下の要点に沿って記述してください。来年度からは、さらに厳格になる可能性があります。

(1). 心臓リハビリテーションプログラムの実施内容

- ・心筋梗塞：「心臓リハビリテーション標準プログラム」に記載されている内容
- ・他の心疾患：なるべく心筋梗塞に準じた質のプログラム内容
- ・心疾患合併症例が他の原因で体力が低下し、その症例に離床促進を目指したりハビリテーションを行ったという報告は、資格試験のための症例としては認められません。

(2). 運動療法

- ・学会推奨外の運動強度を実施した場合には、その目的と根拠を示して下さい。
- ・6分間歩行から運動処方を作成した場合には、その運動強度の算出根拠を示して下さい。

(3). 症例の内訳

以下の症例を混在させることが望ましい。

- ・狭心症・心筋梗塞、心不全、開心術後、大血管疾患、末梢動脈疾患
- ・急性期と慢性期（外来心臓リハビリテーションプログラム）
- ・急性期病院勤務のため10症例すべてが急性期症例の報告書は、自分が様々な症例に対して標準的な心臓リハビリテーションを経験して来たことを示す報告書としては不適切です。退院後の再発予防、新規発症予防および心疾患の治療目的に、どのような介入と指導を入院中あるいは退院時に行ったかを記述してください。

(4). 注意点

- ・症例ごとに介入すべきポイントは変わるはずですが、すべての報告書に「有酸素運動とレジスタンストレーニングを実施し、塩分 6g 未満を指導した」と同じ文章で記載されているのは認められません。
- ・「何日目に立った、何日目に歩いた、何日目に退院した」という入院中の進行度だけを記載した報告書は認められません。

以上、自験例報告書は、受験者が心臓リハビリテーション指導士として十分な標準的心臓リハビリテーションプログラムを経験してきたことを証明するものであり、「資格審査の一環であるということ」を認識して記述して下さい。

15.その他

- ・指導士に関する基本的事項（応募条件、手続きや資格更新等）はホームページで事前に確認し、間違いのないようにしてください。
- ・事前申込のない方の当日受付はいたしません。
- ・申し込み後の出願内容の変更はできません。
- ・書類選考結果に関することはお答えできません。
- ・前回不合格者は今回講習なしでも受験できますが、テキストが必要な場合は事前に購入してください。
- ・今回の受験での不合格者は次回(第 20 回 大阪開催予定)の受験を講習なしでも認めます。ただし再受験による講習会免除は次年度の試験 1 回のみとします。2 回連続して不合格になった場合で再受験を希望される方、および不合格になった方で翌年受験されず再度受験を希望される方は改めて新規応募者として申請してください。
- ・心リハ研修制度を利用して受験資格認定により受験した方で不合格になった場合は、翌年の受験（2 回目）は申請のみで可能です。2 回目の受験で不合格になった場合、翌々年の受験に際して症例報告の再提出が必要となるため、この時期までに心リハ経験が全くない場合は、再度研修を行う必要があります。
- ・受講、受験等でご質問のある方は、学会事務局までメールでお問い合わせください。
- ・毎年申請や試験付近は、事務局への問い合わせが多数となり、回答までに一週間ほどいただいております。余裕をもってお問い合わせください。
- ・会員番号は 712 から始まる 10 ケタの数字です。不明な方は、事務局にお問い合わせください。

日本心臓リハビリテーション学会事務局
〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-23-1-260
TEL : 03-6300-7977 FAX : 03-6300-7966
E-mail : jacr-society@umin.ac.jp